

<b>ベンチオカーブ乳剤</b> <b>サターン乳剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> クミカ  <b>原体メーカー：</b> クミカ
<b>成分：</b> ベンチオカーブ〔カーバメート系 PRTR・1種〕…50.0% <b>その他 PRTR 該当成分：</b> キシレン〔PRTR・1種〕……………14%〈13～15%〉 エチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………27%〈27～28%〉	<b>性状：</b> 淡黄色液体 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級III

### 【品目特性】……………

●感受性雑草はノビエ、マツバイ、タマガヤツリ、ホタルイ、ミズガヤツリ、オヒシバ、エノコログサ、スズメノカタビラ、スズメノテッポウ、メヒシバ、カヤツリグサ、コゴメガヤツリ、キカシグサなど。

●土壌移行性は小で、2～4 cmの移動性を示す。

●土壌残効は長く、土質や気象条件により異なるが、水田状態では、約20日程度である。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

#### 〈直播水稻(乾田条件)〉

●は種後処理は出芽前又は出芽揃期からノビエ1.5葉期までに行う。

●は種直後処理はなるべく細かく砕いた土で3 cm程度覆土し、軽く鎮圧してから散布する。

●乾田条件で使用する場合は砂壤土で整地の良い条件では低薬量でも有効であるが、通常の乾田条件では10 a当りは種直後～出芽期については800 ml～1200 ml、稲出芽揃期～ノビエ1.5葉期については1000 ml～1500 mlの薬量で使用する。

●土壌が乾いている時は10 a当り100 ℓを最大として希釈水量を多めにする。

#### 〈稲(育苗箱)〉

●本剤を稲の育苗箱に使用する場合は次の事項に注意する。

○散布前に種もみが露出ないように覆土する。

○散布直後の灌水は効果が劣り、葉害が発生する場合があるので、育苗箱の土壌が乾燥している場合は灌水してから散布する。

### 〈レタス、非結球レタス〉

●整地不良で大きい土塊があったりすると効果不十分になるので整地をよくする。

●雑草の出芽時に最も強く作用するので、できるだけ早めに散布する。

●春まき移植栽培又は、露地のトンネルマルチ栽培で、定植前(マルチ前)に使用し、その他の栽培様式での使用はさける。

### 〈林木苗木の床替床〉

●すぎ、ひのき、えぞまつ、とどまつの林木苗木の床替床に使用する場合は、床替活着後で雑草の発生前に散布する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

●出芽直後の散布は薬害の出るおそれがある。

●適用作物(直播水稻、レタス、非結球レタス、すぎ、ひのき、えぞまつ、とどまつ)の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●タデ、タネツケバナ、ノミノフスマなど広葉雑草の優占圃場では効果が劣ることもあるので使用はさける。

### 【安全対策上の注意】……………

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

●藻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。

●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】 .....

作物名	適用雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り使用量		使用 方法	本剤の 使用回数	適用 地帯	ベンチオカーブを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
直 播 水 稲	水田一年生 雑草 マツバイ	砂壤土 ～埴土	は種直後～ 稲出芽前 (入水15日前まで)	600～ 1200 ml	70～ 100 ℓ	乾田・ 落水状 態で全 面土壌 散布			2回以内 (入水前は 1回以内、 入水後は 1回以内)
			稲出芽揃期～ ノビエ1.5葉期 但し、収穫90日前まで (入水15日前まで)	1000～ 1500 ml					
レ タ ス (春播移植栽培) レ タ ス (トンネル・マルチ栽培) 非結球レタス (春播移植栽培) 非結球レタス (トンネル・マルチ栽培)	一年生雑草	全土壌	定植前 マルチ前 (雑草発生前)	800～ 1000 ml	60～ 100 ℓ	土壌全 面処理	1 回	全域	1 回
す ん ぎ (床 替 床) ひ の き (床 替 床) え ぞ ま つ (床 替 床) と ど ま つ (床 替 床)		——	床替活着後 雑草発生前	600～ 800 ml	200～ 300 ℓ (200～ 300 ml / ㎡)	所定薬 量を所 定量の 水にう すめ噴 霧機な どで土 壌面に むらな く散布 する。	3 回 以内	——	3 回 以内

作物名	適用雑草名	適用 土壌	使用 時期	使用量		本剤の 使用回数	使用方法	適用 地帯	ベンチオカーブを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
稲 (箱育苗)	一年生雑草	全土壌 (砂土を 除く)	は種後 出芽前 (雑草発 生前)	育苗箱 (30×60 cm) 1 箱当り 0.13 ml	育苗箱 (30×60 cm) 1 箱当り 13 ml	1 回	育苗箱の 土壌に均 一に散布 する。	北海道	1 回